

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和6年度

1 基本情報

公の施設名	淵野辺公園アイススケート場、水泳プール及びトレーニング室（銀河アリーナ）
指定管理者名	銀河アリーナ運営共同事業体 【構成団体】 公益財団法人相模原市まち・みどり公社、美津濃株式会社、株式会社パティネレジャー
指定期間	令和6年4月1日から令和9年3月31日まで（3年間）
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	学校教育を含む市民利用と競技スポーツの振興を図るため
施設概要	所在地：相模原市中央区弥栄3-1-6（淵野辺公園内） 開設：平成3年1月20日 構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上4階地下1階 1階 事務室（面積94㎡）、第1会議室（面積94㎡）、医務室、貸靴コーナー、売店、レストラン（面積119㎡：休止中）、ロッカー室、更衣室、シャワー室、機械室、監視室、トレーニング室 2階 メインリンク（60m×30m）、サブリンク（18m×14m）、採暖室、放送監視室、軽食コーナー、救護室、休憩コーナー（控室）、氷面削整機車庫、更衣室、シャワー室 3階 観覧席（1,242席）、第2会議室（81㎡） 4階 TVカメラスペース、電光表示盤スペース、ファン室
施設所管課	市民局スポーツ施設課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
利用者数合計（人）	158,389	151,659	162,916				
利用料金合計（円）	81,017,246	83,615,319	94,714,172				

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	成果指標の達成度について、下記3つの指標の平均値が「96.7%」となることから「B評価」となった。 唯一の目標達成となったトレーニング室において、実施事業の見直しによる効果が一定程度表れていることから、アイススケート場の利用者数確保についても実施事業の活用や、小人利用料金の無料入場をうまく活かすことにより、より一層の集客に期待したい。

指標1

指標名（単位）	アイススケート場一般利用人数（人）
指標式と指標の説明	【指標の説明】 アイススケート場における年間の一般利用人数 【指標式】 達成度＝実績人数÷目標人数×100

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標値（人）	106,100	108,200	82,000	85,000	87,000		
実績値（人）	83,069	75,927	70,822				
達成度（%）	78.3%	70.2%	86.4%	0.0%	0.0%		

指標2							
指標名（単位）	トレーニング室利用人数（人）						
指標式と指標の説明	【指標の説明】 トレーニング室における年間の利用人数 【指標式】 達成度＝実績人数÷目標人数×100						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標値（人）	73,800	84,900	25,000	26,500	28,000		
実績値（人）	21,243	24,722	26,238				
達成度（％）	28.8%	29.1%	105.0%	0.0%	0.0%		

指標3							
指標名（単位）	アイススケート場特別専用利用件数（件）						
指標式と指標の説明	【指標の説明】 アイススケート場における年間の特別専用利用件数（早朝及び夜の時間帯） 【指標式】 達成度＝実績件数÷目標件数×100						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標値（件）	1,060	1,080	1,080	1,100	1,120		
実績値（件）	1,105	1,072	1,066				
達成度（％）	104.2%	99.3%	98.7%	0.0%	0.0%		

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	達成度が「126%」となることから「S評価」となった。 従前より実施していた人気事業であっても慢心することなく、事業内容の精査を行い、より一層の利用者取得に向けて尽力している点や、施設独自のオリジナルグッズ作成により、施設に興味を持っていたかのように日々努力している点など、現状に満足しない姿勢は非常に評価できる。参加者数の少ない事業についても、同様の取組みを拡げることにより、より一層の集客に繋がるよう期待したい。

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
スケートワンポイントレッスン	10～3月	日曜・祝日・大型連休中などに、指導員（相模原市スケート協会）がリンク内を巡回しながらワンポイントのアドバイスを行うものとなっており、スケート場を初めて利用する人や、不慣れな方が安心して利用できるということで好評이었다。供用期間中に28回実施した。	○
スケート感謝デー	10月	スケートオープン当日に合わせて開催することができ、多くの方にご利用いただくことが出来た。当日は、無料で自社生産の花苗も配布し、多くの方に喜んでいただけた。 利用時間中に競技の体験会も実施し、施設利用だけでなく、競技を知っていただけるような取り組みを実施できた。	○
花苗販売	4～7月、10～12月	代表団体が自社生産している季節の花苗を販売し、銀河アリーナだけでなく、淵野辺公園来園者にも楽しんでいただけた事業になった。 購入者はリピーターも多く、花苗が納品される日に合わせてご来館いただけることも多くなった。	○

美術作品の展示	2月	市教育委員会との共催事業として、近隣の中学校の作品展を開催することが出来た。併せて、近隣の和泉短期大学とも連携し、地域としての事業にもなった。 感想ノートなども設置したことで、観覧した人からの暖かい言葉を学生に届けることも出来ている。	○
アイススケート場利用促進事業	2～3月	オリジナルピンバッチを製作し、バレンタインデー・ホワイトデーにピンバッチが当たる抽選会や回数券購入者を対象としたプレゼントを実施し、大変好評であった。	◎
トレーニングチャレンジセブン	7～8月	積極的にスタッフがサポートを行いながら、トレーニングを実施していただき、まずは気軽に通うことを習慣づけてもらうようにした。チャレンジ回数は7回に設定し、チャレンジ達成で健康商品をプレゼントしたことから、トレーニング室のリピーターが増えてきている。	◎
高齢者健康増進事業	4～5月、2月	ポールウォーキングやトレーニング指導（ストレッチ指導や機器使用指導など）を相模原市社会福祉協議会や各地域包括支援センターと連携して実施した。 体力向上への意識付けとなったことや施設の良さを知っていただける機会になった。	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	目標値に対する達成度が「106.6%」となることから「A評価」となった。 施設が老朽化していく中で、トイレや施設内の清潔さを保つことを意識している点も評価できる。引き続き、利用者が気持ちよく施設を利用できるような管理に期待したい。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	アンケート用紙、WEBアンケート。施設利用者306人から回収。						
目標値の基準	総合的な満足度について、「とても良かった」「良かった」と回答した割合の合計						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標値（%）	92.0	92.0	90.0				
実績値（%）	93.1	92.8	95.9				
達成度（%）	101.2%	100.9%	106.6%	#DIV/0!	#DIV/0!		

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
お客様ご意見箱の設置	常時	管理事務所において「お客様ご意見箱」を設置
ホームページの活用	常時	ホームページにおいて「お問い合わせフォーム」を設置

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	・代表団体の経営状況は2年連続の収支赤字であまり良くない。赤字の原因が公益事業の赤字が大きいためである。しかし、正味財産も潤沢であり、大きな投資や借入金もないので、すぐに問題になることはないと思われる。 ・構成団体2社は経営状況、財政状況ともに問題になるような点はなかった。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入 (a)		294,274	279,721	304,796	
	指定管理料	166,429	166,501	189,464	
	利用料金収入	81,017	78,887	94,714	
	その他の収入	46,828	34,333	20,618	
支出 (b)		322,586	314,135	318,536	
	人件費	101,008	105,571	96,800	
	本社管理経費	11,641	11,228	3,025	
	その他の支出	209,937	197,336	218,711	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		-28,312	-34,414	-13,740	
自主事業収入 (d)		10,189	12,021	11,270	
自主事業支出 (e)		7,098	7,844	7,386	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		3,091	4,177	3,884	
全体収支 【(c)+(f)】		-25,221	-30,237	-9,856	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和7年2月25日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目		取組状況
機種依存文字を使っていない。		○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。		○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。		○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。		○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。		○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。		○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。		○
その他取り組んでいること	X（旧ツイッター）、Instagram、Facebook、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」、ポータルサイト「JIMOTTO」、TV・新聞・雑誌等の各メディアへの取材協力などで施設の情報発信	

9 指定管理者の自己評価

令和6年度に新たにInstagramを開設し、XやFacebookとともに施設の情報発信に努めた。少しずつ公式アカウントも認知され、Xについてはフォロワーが900人を超え、スケート教室のお知らせに約2万件的アクセスがあるなど、各種事業の案内等においても多くの反応をいただけるようになった。

また、相模原市の広報だけでなく、他市の広報や子どもタウンニュースを活用して、広い範囲に情報を発信した。広報誌を見て、ご来館いただけたという声もあり、認知度向上に役立ったと感じている。

実施事業としては、例年実施しているスケート教室に加え、アイススケート場のオリジナルピンバッジを製作し、プレゼント企画を実施した。くじ引き形式にしたことで、特別感も増し大変喜んでいただけた。プレゼント企画実施時のスケート場利用者は昨年同時期と比較して約30%増加したため、引き続き、利用者に喜んでいただける企画を展開し、利用者増加に取り組んでいきたい。

健康増進については、トレーニング室利用者に向けた事業として、複数回通ったことで達成感を得られる事業を展開した（トレーニングチャレンジセブン）。また、相模原市社会福祉協議会や地域包括支援センター等と連携して、高齢者向けの事業（ポールウォーキング、ストレッチ等）も行い、普段運動機会がない人たちにも気持ちよく体を動かしていただける機会を提供できた。これについても、引き続き連携しながら実施していきたい。

10 所管課意見

事業の実施において、SNSでの告知や他市広報紙への掲載等、多種多様な媒体を活用することにより、より多くの方へ情報発信を行い、施設の認知度向上に努めた点は非常に評価できる。あわせて、毎年の人気事業となっている教室についても、現状に満足することなく、内容の精査に取り組み、利用者が何を求めているかを模索し続ける点は、施設管理者として高い意識を持っているものと判断できる。

今後は未達となった一般利用者の確保に繋がるような事業展開にも期待するとともに、残り2年となった管理期間においては、修繕箇所の精査など、より一層の管理上細かい視点が要求されるため、施設の維持管理や安全な運営については市と連携しながら取り組んでいただきたい。

11 選考委員会意見

現状に甘んじることなく、利用者が何を求めているか模索し、自主事業の新規事業を11件行うなど、努力いただいた結果利用者が増えているの分かる。施設の特性上、ケガ等も多いと思うが、引き続き安全管理に気を付けていただき、より一層の利用者増加に向けて頑張ってください。

残り2年間、仕上げる段階に入っており、市の事業の在り方のベンチマークになる施設になると思うので、引き続きより良い施設運営となるよう取り組んでいただきたい。

総合評価（自動判定）

A

(70/100)

